



ほり  
イ

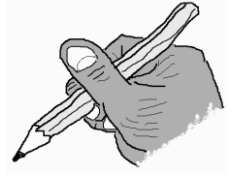
# スクールソーシャルワーカーだより

こと ほりかわしげとし

50

## ☆手 の巻 ☆

またまたNHK・R1「飛ぶ教室」を  
聴いて聞いて考えたこと



からだの一部分である『手』。その『手』を使って生み出されたものも『手』と呼ばれます。

元号が令和にあらたまった折に、千年以上昔に著わされた万葉集に載った和歌から取ったことが紹介されました。そしてその万葉集は、日本語（大和言葉）を漢字に置き換えた、万葉仮名で書かれていることも伝えられました。

当時は、誰もが読み書きが出来るわけでもなく、宮中に仕える人たちと、中国文化を日本に定着させる、学校の役割を持つお寺に勤めるお坊さんくらいしか文字を知りません。とくにお坊さんは毎日お経を読むのですが、教えられた読み方を書き込むのに、万葉仮名の一部を記号のようにして用いたものが平仮名やカタカナの起源だそうなんです。

最初、女性だけが仮名文字だけで手紙を書いていたことから、平仮名を『おんな手』と呼ぶようになるのですが、こうしてながめると、『手』には書き留められた手紙などそのものを指していますね。

☆

「文字は心の鑑、文は人なり」という言葉をご存じでしょうか？わたしが書く文字は、他人様に読み解くことが難しいほどの悪筆です。この文章についても、その意味が十分に伝わっているかどうか、あやしいものです。そうすると「こころのかがみ」「文は人がら」ですから、わたしがいいかげんな人間であることを人前にさらしていることになります。

そんな事はお構いなしに、思いつくまま、いつの間にか五十枚もの手紙をお届けしたことになります。ほんとに迷惑な話ですね。申し訳ありませんでしたm(\_ \_)m もうしばらくお付き合いくださいね。

★

「人は自分が話している時には多くの事を学ばないものだ」という言葉は、オールド・ジャック・ターというイギリス人のことばなのですが、そうすると当SSWはまたもやこの金言によってたしなめられてしまいます。SSWだよりは一方通行で、わたしが勝手にあなたに伝えたいと思っている事を伝えただけ、語りかけているだけなのです。

そういった事どもを知った上でなお、お伝えしたいことがあるのです。それは、このたよりに読んで下さっているあなたが、何の報いを受けられなくても、子どもさんを大事にしてもらえるから、気休めにもならないかも知れませんが、一緒に子どもの事を考えている、たくさんの人がいることをお伝えしたいからなのです。

経験から学ぶ以上に、歴史から学ぶことが必要です